

ホークスレジェンド攝津正さん出演コラボ CM を FBS のプロ野球試合中継で放映開始

PR TIMES を実際に活用するホークス担当者の声を再現したオリジナル CM



プレスリリース配信サービス「PR TIMES」等を運営する株式会社 PR TIMES（東京都港区、代表取締役：山口拓己、東証プライム・名証プレミア：3922）は、福岡ソフトバンクホークス、FBS 福岡放送とのコラボレーションにより、ホークス OB の攝津正さんが出演するコラボ CM を制作いたしました。FBS のプロ野球中継内で放映します。

攝津正さん出演の CM で、ホークスの「PR TIMES」活用を伝える

本 CM では、福岡に根差し、多くのファンから親しまれている福岡ソフトバンクホークスも情報発信に活用する「PR TIMES」を、ホークスの活用を再現することでご紹介する内容となっています。



CM 本編は、攝津さんのダイナミックな投球を思わせる動きから始まり、福岡ソフトバンクホークスの球団グッズ売り場に場面を移して、ホークスにおける「PR TIMES」の活用を伝える 30 秒の映像です。福岡ソフトバンクホークスの球団グッズ売り場を訪れ、事業者が商品やサービスの魅力を広く届ける手段として「PR TIMES」を紹介します。

福岡の企業や事業者の皆様「PR TIMES」をより身近に感じていただき、自社の商品やサービス、取り組みを発信するために「自分たちも使ってみよう」と思っただきかけとなることを期待しています。

地域で生まれる新しい商品やサービス、イベント、企業の挑戦には、それぞれ発信する価値のある背景や思いがあります。一方で、地元の企業や事業者からは、「情報を届けたいが、広報の方法が分からない」「自社の取り組みを知ってもらいきっかけがない」といった声も聞かれます。大企業や広報の専門部署だけでなく、地域で事業に取り組む誰もが発信の主体になれることを知っていただき、初めてプレスリリースを配信する一歩を後押ししたいと考えています。



認知アップ・販路拡大に繋がっています

CM 概要「伝える力で勝負に勝つ。プレスリリースは PR TIMES」

- 出演：攝津 正さん
- 映像尺：30 秒
- 放送局：FBS 福岡放送
- 放送枠：福岡ソフトバンクホークス戦中継内

放送日程

放送日	対戦カード
2026 年 8 月 6 日 (木)	福岡ソフトバンクホークス 対 北海道日本ハムファイターズ
2026 年 8 月 12 日 (水)	福岡ソフトバンクホークス 対 千葉ロッテマリーンズ
2026 年 8 月 22 日 (土)	福岡ソフトバンクホークス 対 オリックス・バファローズ
2026 年 9 月 4 日 (金)	福岡ソフトバンクホークス 対 埼玉西武ライオンズ
2026 年 9 月 11 日 (金)	福岡ソフトバンクホークス 対 千葉ロッテマリーンズ
2026 年 9 月 13 日 (日)	福岡ソフトバンクホークス 対 千葉ロッテマリーンズ

※放送予定は変更となる場合があります。

地域に親しまれるホークスとの接点から、「知っている」を「使ってみたい」へ

PR TIMES は、企業や団体が自らの新しい情報をプレスリリースとして発表し、メディアや生活者へ届けるためのプラットフォームです。企業規模や所在地を問わず、挑戦する人が自ら情報を発信できる「PR の民主化」を目指しています。

福岡ソフトバンクホークスは、福岡をはじめ九州の人々に親しまれ、地域に大きな熱量を生み出している存在です。同球団も「PR TIMES」を通じて、試合やイベント、地域に向けた取り組みなどの情報を発信しています。

今回の CM では、地元で広く知られるホークスと攝津さんを入口に、「PR TIMES」というサービス名を知っていただくだけでなく、「ホークスも使っている情報発信のサービス」と身近に感じていただくことを目指します。CM との出会いが、福岡で事業に挑む企業や人の新たな情報発信につながっていくことを期待しています。

担当者コメント

コーポレートコミュニケーション部 PR・IR チーム PR シニア 杉本秋

ホークスが「PR TIMES」を使って情報を届けていることを知っていただくことで、福岡で事業に取り組む皆様にも、プレスリリースによる発信を身近に感じていただきたいと思います。伝えたい商品やサービス、挑戦がありながら、発信方法が分からずにいる方が「自分たちも使ってみよう」と思える。今回のCMが、その最初の一步につながることを願っています。



PR TIMES と福岡ソフトバンクホークスのこれまでの取り組み

PR TIMES は 2024 年から福岡ソフトバンクホークスのオフィシャルスポンサーを務めています。2024 年には、ファンから募集した応援メッセージをみずほ PayPay ドームのネクストバッタースサークルに掲出し、選手へ届ける企画を実施しました。2025 年には、育成選手が自らの言葉で、強みや日々取り組んでいることを伝える動画企画「育成 PR TIMES」に協賛しました。選手自身の発信とファンの応援が出会う場をつくり、挑戦する人の思いや行動が届くことを応援してきました。

今回の取り組みでは、ホークスとの接点を福岡の企業や事業者による情報発信へと広げます。地域を代表する球団や放送局とのコラボレーションを通じて、福岡から生まれるニュースが、より広く社会へ届く機会をつくってまいります。

株式会社 PR TIMES について

PR TIMES（読み：ピーアールタイムズ）は、「行動者発の情報が、人の心を揺さぶる時代へ」をミッションに掲げ、「行動者」のポジティブな情報がニュースの中心となり、個人を勇気づけ前向きにする社会の実現に挑んでいます。私たちは人の行動や頑張りの結晶を、その想いを紡いで発表するのがプレスリリースだと考え、企業規模を問わず「行動者」が自ら発信できる、PR の民主化を目指して事業を展開しています。プレスリリース配信サービス「PR TIMES」の利用企業数は 12 万 9000 社 を超え、国内上場企業の 65% 超 に利用いただいています。情報収集のため会員登録いただくメディア記者 2 万 9000 人超、サイトアクセス数は月間約 9000 万 PV、プレスリリース件数は月間 4 万 6000 件超、累計で 200 万件 を超えています。全国紙 WEB サイト等含むパートナーメディア 270 媒体以上 にコンテンツを掲載しています（2026 年 5 月時点）。



他にも、ストーリーで伝える「PR TIMES STORY」、動画で伝える「PR TIMES TV」、PR 活動の設計から実行まで伴走する PR パートナー事業、アート特化型の PR プラットフォーム「MARPH」、「STRAIGHT PRESS」等のニュースメディア事業で、情報発表とその伝播を支援する他、生まれた企画が発表に至るまで前進できるよう支えるタスク・プロジェクト管理ツール「Jooto」、さらに発表後のお客様対応や情報整理を円滑に行える カスタマーサポートツール「Tayori」 など、「行動者」を立体的に支える事業を運営しています。

また子会社には、スタートアップメディア「BRIDGE」を運営する株式会社 THE BRIDGE、ソフトウェア受託開発を行う株式会社 グルコース、SNS マーケティング支援の株式会社 NAVICUS があります。

【株式会社 PR TIMES 会社概要】

ミッション：行動者発の情報で、人の心を揺さぶる時代へ

会社名：株式会社 PR TIMES（東証プライム、名証プレミア 証券コード：3922）

所在地：東京都港区赤坂 1-11-44 赤坂インターシティ 8F

設立：2005 年 12 月

代表取締役：山口 拓己

事業内容：- プレスリリース配信サービス「PR TIMES」(<https://prtimes.jp/>) の運営
 - ストーリー配信サービス「PR TIMES STORY」(<https://prtimes.jp/story/>) の運営
 - クライアントとメディアのパートナーとして広報・PR 支援の実施
 - 動画 PR サービス「PR TIMES TV」(<https://prtimes.jp/tv/>) の運営
 - アート特化型オンライン PR プラットフォーム「MARPH」(<https://marph.com/>) の運営
 - カスタマーサポートツール「Tayori」(<https://tayori.com/>) の運営
 - タスク・プロジェクト管理ツール「Jooto」(<https://www.jooto.com/>) の運営
 - 広報 PR のナレッジを届けるメディア「PR TIMES MAGAZINE」(<https://prtimes.com/magazine/>) の運営
 - プレスリリース専用エディター「PR Editor」(<https://preditor.prtimes.com/app/>) の運営
 - Web ニュースメディア運営、等

URL：<https://prtimes.co.jp/>